

栃木県わがまち未来創造事業実績書(市町総括表)
【単独・連携事業】

市町名	下野市
-----	-----

(単位:円)

No.	単位事業名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計
1	下野市小中学校音楽祭	総事業費		1,398,362	1,450,000	1,450,000	1,450,000	5,748,362
		うち市町支出額		1,100,000	1,100,000	1,100,000	1,100,000	4,400,000
		うち県交付金		550,000	550,000	550,000	0	1,650,000
2	しもつけ市民芸術文化祭	総事業費	1,129,212	1,177,496	1,150,000	1,150,000	1,150,000	5,756,708
		うち市町支出額	884,167	895,493	900,000	800,000	700,000	4,179,660
		うち県交付金	442,083	447,746	450,000	0	0	1,339,829
3	下野市産業祭開催事業	総事業費	2,875,612	2,558,780	3,001,000	3,001,000	3,001,000	14,437,392
		うち市町支出額	2,575,475	2,458,772	3,000,000	3,000,000	3,000,000	14,034,247
		うち県交付金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	0	0	3,000,000
4	いしばし納涼踊り花火大会開催事業	総事業費	4,463,595	4,166,699	4,600,000	4,600,000	4,600,000	22,430,294
		うち市町支出額	1,467,000	1,372,000	1,522,000	1,522,000	1,522,000	7,405,000
		うち県交付金	733,500	686,000	761,000	0	0	2,180,500
5	石橋商工会賑わい祭開催事業	総事業費	1,537,069	1,500,898	1,288,000	1,288,000	1,288,000	6,901,967
		うち市町支出額	228,000	470,000	229,000	229,000	229,000	1,385,000
		うち県交付金	114,000	235,000	114,500	0	0	463,500
6	しもつけお笑いグランプリ開催事業	総事業費	543,614	600,168	840,000	840,000	840,000	3,663,782
		うち市町支出額	181,000	200,000	200,000	200,000	200,000	981,000
		うち県交付金	90,500	100,000	100,000	0	0	290,500
7	下野市商工会青年部夏まつり開催事業	総事業費	641,576	414,469	900,000	900,000	900,000	3,756,045
		うち市町支出額	213,000	138,000	250,000	250,000	250,000	1,101,000
		うち県交付金	106,500	69,000	125,000	0	0	300,500
8	下野市天平マラソン大会	総事業費		4,761,983	4,780,000	4,780,000	4,780,000	19,101,983
		うち市町支出額		813,483	880,000	880,000	880,000	3,453,483
		うち県交付金		406,741	440,000	440,000	0	1,286,741
9	第7回しもつけかんぴょうまつり	総事業費		437,927	418,000	418,000	418,000	1,691,927
		うち市町支出額		418,300	418,000	418,000	418,000	1,672,300
		うち県交付金		172,000	174,000	174,000	0	520,000
10	絶滅危惧種トウサワトラノオ保護事業	総事業費	300,000	600,000	390,000	200,000	200,000	1,690,000
		うち市町支出額	300,000	600,000	390,000	200,000	200,000	1,690,000
		うち県交付金	105,000	256,000	150,000	0	0	511,000
市町計	総事業費	11,490,678	17,616,782	18,817,000	18,627,000	18,627,000	85,178,460	
	うち市町支出額	5,848,642	8,466,048	8,889,000	8,599,000	8,499,000	40,301,690	
	うち県交付金	2,591,583	3,922,487	3,864,500	1,164,000	0	11,542,570	

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	下野市
事業名	下野市小中学校音楽祭
事業主体の名称	下野市小中学校音楽祭実行委員会
代表者の名称	実行委員長 大塩 宗里
事業主体の所在	329-0492 下野市笹原26番地(下野市生涯学習文化課内)
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的: 青少年の健全育成 ・設立年月日: 平成29年6月23日 ・構成員等: 下野市青少年育成市民会議理事及び市PTA、その他
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>下野市は平成18年に南河内町、石橋町、国分寺町が合併してできた市であり、市民が一体となって青少年の健全育成に取り組むため、「ファミリエ下野市民運動」を推進している。小中学校音楽祭実行委員会の構成組織となる、市青少年育成市民会議と各学校PTAにおいては、日頃から市と連携し子どもたちの健全育成に取り組んでいる。</p> <p>本事業は平成22年度から始まり、年々参加者と観覧者が増加し、近年では1,000人を超えている。市内小中学校児童生徒が一堂に会し、音楽を通じて交流することで、関係者はもちろんのこと、多くの市民のさらなる地域への愛着心を育んでいるものと考えているが、市民の社会参加意識やまちづくりに対する意欲をどのように高めていくかが課題である。</p>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を通して市内児童・生徒の心身の健全育成に寄与するとともに、親睦を図る。 ・家庭、地域、学校が連携して事業を行い、下野市民としての一体感や社会参加意識を醸成する。
事業概要	<p>☆市民参加によるまちづくり意欲の向上を図るため、実行委員会を組織化し、運営を市民に任せたと。 ☆ふるさと意識を醸成するため、参加者全員で「下野市の歌」を合唱した。 ☆ステージ設営を業者に委託し、本格的な音楽ステージ仕様で意欲の向上を図った。</p> <p>【平成29年度】 開催日: 平成29年9月30日(土) 石橋中学校体育館 実施内容: ①市内各小中学校の児童・生徒による合唱・合奏の発表 ・市内の学校が演奏を介し交流することで一体感を醸成し、地域間交流の促進につなげた。 ・子育て世代の親子がともにふるさと意識を感じることで、定住志向の向上を図った。 ②市内県立高校の生徒の合唱・合奏の演奏 ・小中学生が地元高校生の素晴らしい演奏を聞くことにより地域を誇りに思う気持ちを育て、愛着心の向上を図った。</p> <p>【平成30年度】 開催日: 平成30年9月 実施内容: ①市内各小中学校の児童・生徒による合唱・合奏の発表 ②市内県立高校の生徒の合唱・合奏の演奏 より地域のつながりを強化し、市民が一体感を感じられるようなイベントとなるようリニューアルしながら実施する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標④安心なくらしを守り幸せを実感できるまちをつくる 【数値目標】 幸せだと感じている市民の割合: H26 75% → H31 78% 住みやすいと感じる市民の割合: H26 84% → H31 87% 【KPI】 小中学校の教育の取組の満足度: H26 4 → H31 5 講座・講演会の年間受講者数: H26 8,242人 → H31 8,600人 【H28実績 8,574人】 公民館の利用者数: H26 14万7千人 → H31 15万4,200人 【H28実績 13万5,560人】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	30年度	31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①市内各小中学校の児童・生徒による合唱・合奏の発表 ②市内県立高校の生徒の合唱・合奏の演奏	①市内各小中学校の児童・生徒による合唱・合奏の発表 ②市内県立高校の生徒の合唱・合奏の演奏	①市内各小中学校の児童・生徒による合唱・合奏の発表 ②市内県立高校の生徒の合唱・合奏の演奏		①市内各小中学校の児童・生徒による合唱・合奏の発表 ②市内県立高校の生徒の合唱・合奏の演奏
事業費	1,398,362	1,450,000	1,450,000	4,298,362	1,450,000
市町支出金(ソフト事業分)	1,100,000	1,100,000	1,100,000	3,300,000	1,100,000
うち県交付金	550,000	550,000	550,000	1,650,000	
市町支出金(ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	298,362	350,000	350,000	998,362	350,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	生涯学習文化課(生涯学習推進グループ)
担当者名	大門 啓美
電話	0285-32-8919
FAX	0285-32-8610
E-mail	svougaigakusyuuunka@city.shimotsuke.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	下野市
事業名	しもつけ市民芸術文化祭
事業主体の名称	しもつけ市民芸術文化祭実行委員会
代表者の名称	会長 中川 賢一
事業主体の所在	329-0492 下野市笹原26(下野市生涯学習文化課内)
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:しもつけ市民芸術文化祭の開催事業の具体的な推進を図る。 ・設立年月日:平成18年7月4日 ・構成員等:下野市文化協会役員及び一般公募委員
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>下野市は、平成18年に南河内町、石橋町、国分寺町が合併してできた市であるが、その際、「思いやりと交流で創る新生文化都市」をメインテーマに、日頃から市民を対象とした様々な公民館講座を開催したり、小中学校でも芸術文化活動に力を入れてきた。合併当初よりしもつけ市民芸術文化祭を開催し、以来、毎年10月に開催され、公民館講座や小中学生の学習の成果発表の場として、文化芸術に親しむ市民の意欲向上に寄与してきた。</p> <p>しかし、近年、文化協会会員の高齢化や会員数の減少に伴い、文化祭参加者も減少傾向にある。市民の趣味嗜好の多様化や旧3町の会場持ち回り開催などにより会場が遠方になってしまう方々がいるものも起きているものと考えられる。文化祭は3町の融和のシンボリックな行事でもあることから、いかにして参加者を増やし、芸術文化の振興という目的のもと、市民の一体感を醸成していくかが課題となっている。</p>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化活動に参加する市民を増やす。 ・市民の創作意欲の高揚を喚起する。 ・文化芸術の側面から市民の交流を図り、ふるさと意識の高揚と一体感を醸成を図る。 ・地域文化の振興による定住促進のシンボリックな事業とする。 ・多様化する文化芸術団体の成果発表の受け皿となる。
事業概要	<p>文化祭期間中に同会場で産業祭(産業振興・交流促進のため80店以上の市内企業や団体の模擬店等が出店するイベント)を連動して開催し、来場者の増加を図った。</p> <p>【平成29年度】 ○しもつけ市民芸術文化祭の開催(平成29年10月14日(土)～29日(日)) ※一部の日程は下野市産業祭と同時開催 ☆産業祭が開催される南河内体育センターと、市民芸術文化祭のサブ会場であるグリムの館、国分寺公民館をスタンプラリーで周遊させるため景品を用意した。(なお、産業祭については台風のため中止となった。) ①芸能の祭典Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ…市民が日頃活動している各教室の成果披露(吟詠、ダンス、邦楽、洋楽、郷土芸能、民謡、舞踊、) ②歌の祭典…市民が日頃活動している各教室等の成果披露(歌謡) ③音楽の祭典…市民が日頃活動している各グループ等の成果披露(ロック、フォーク等) ④グリムミュージックフェア…市民が日頃活動している各教室等の成果披露(コーラス、吹奏楽、管弦楽等) ⑤書道展…市民が日頃から制作している作品の展示(書道作品) ⑥茶華道展…市民が日頃活動している教室等の成果披露(お茶のお点前、活け花の展示) ⑦市民の作品展…市民が日頃から制作している作品の展示(絵画、版画、手工芸品等の作品)</p> <p>また、関連イベントとして、国分寺公民館で囲碁大会(10/28)、将棋大会(10/29)、グリムの館で人権作品展(10/14～10/29)を開催した。</p> <p>【平成30年度】 ・来場者アンケート結果を参考に、内容の見直しを図るとともに、市民参加型のワークショップ(体験講座等)を各種開催予定。 ・子どもの活動や作品が発表されることで地域への愛着を醸成するとともに、親世代の文化芸術への関心を高め、幸福感を感じることで定住意識を促進していく。 ・集客力を強化し認知度を高めることで、出演料・出展料の割合を増やし、自立的な運営を目指していく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標②東京圏からの新しいひとの流れをつくる 【数値目標】 幸せだと感じている市民の割合: H26 75%→H31 78% 基本目標④安心な暮らしを守り幸せを実感できるまちをつくる 【数値目標】 幸せだと感じている市民の割合: H26 75%→H31 78% 住みやすいと感じる市民の割合: H26 84%→H31 87% 【KPI】 小中学校の教育の取組の満足度: H26 4→H31 5 講座・講演会の年間受講者数: H26 8,242人→H31 8,600人 【H28実績 8,574人】 公民館の利用者数: H26 14万7千人→H31 15万4,200人 【H28実績 13万5,560人】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①芸能の祭典Ⅰ・Ⅱ ②歌の祭典 ③音楽の祭典 ④グリムミュージックフェア ⑤書道展 ⑥茶華道展 ⑦市民の作品展	①芸能の祭典Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ ②歌の祭典 ③音楽の祭典 ④グリムミュージックフェア ⑤書道展 ⑥茶華道展 ⑦市民の作品展	①芸能の祭典Ⅰ・Ⅱ ②歌の祭典 ③音楽の祭典 ④グリムミュージックフェア ⑤書道展 ⑥茶華道展 ⑦市民の作品展		①芸能の祭典Ⅰ・Ⅱ ②歌の祭典 ③音楽の祭典 ④グリムミュージックフェア ⑤書道展 ⑥茶華道展 ⑦市民の作品展
事業費	1,129,212	1,177,496	1,150,000	3,456,708	1,150,000
市町支出金(ソフト事業分)	884,167	895,493	900,000	2,679,600	800,000
うち県交付金	442,083	447,746	450,000	1,339,829	
市町支出金(ハード事業分)	0	0	0	0	
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	245,045	282,003	250,000	777,048	350,000

市町担当情報	
担当課(グループ・係)名	生涯学習文化課
担当者名	坂巻 直正
電話	0285-32-8919
FAX	0285-32-8610
E-mail	svougaigakusyuubunka@city.shimotsuke.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単事業調査)
【単事業】

市町名	下野市
事業名	下野市産業祭開催事業
事業主体の名称	下野市産業祭実行委員会
代表者の名称	会長 高德 吉男
事業主体の所在	〒329-0492 下野市笹原26番地
事業主体の概要	<p>・団体の目的:市民の産業への関心を喚起し、本市における産業を通じた市民、観光客その他の交流及びその発展に寄与する</p> <p>・設立年月日:ふれあいプラザ実行委員会(平成23年9月1日設立)下野市産業祭実行委員会へ名称変更(平成25年8月12日)</p> <p>・構成員等:産業振興部長、農政課長、商業関係団体の代表者、工業関係団体の代表者、農業関係団体の代表者、観光関係団体の代表者、その他必要な関係団体の代表者</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>下野市(平成18年に旧南河内町、旧石橋町、旧国分寺町の3町が対等合併して誕生)では、古くは日光街道が、現在ではJR宇都宮線、国道4号、新4号国道が南北に縦断している交通の利便性を活用し商工業が発展してきた。また、首都圏に近い立地条件を生かした都市近郊農業が盛んで、特に、本市の特産品でもあるかんぴょうの生産量は全国一を誇っており、近年、地域の特性を活かした銘柄を創出するブランド化を推進しているところである。</p> <p>これらの産業振興を図るべく、合併以前から旧石橋町では、「ふれあいプラザ」として地場産品のPRや販売、展示などを行ってきたが、合併後、平成23年からは旧南河内町や旧国分寺町の商工業者も含めて「ふれあいプラザ」を開催、平成25年からは名称を「産業祭」に変更し、地域産品のPRや認知度向上、下野ブランドの定着を図ってきたところ、市内での認知度は高まってきた。</p> <p>しかし、(旧石橋町で開催していた事業であり、会場も石橋地区であることから)石橋地区以外の出展が少ない、出展者の固定化が進んでいる、高齢化や後継者不足で出展者が減少しているなどの問題があり、今後いかにして市内全域からの出展や新規出展を増やし、下野ブランドを育成していく後継者を確保しながら、市民自らのプロモーション力を向上させていくかが課題となっている。</p>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・下野ブランドをはじめ、下野市の魅力を市内外にPRし、産業を活性化させる。 ・市内全域からの出展や新規出展を増やし、下野ブランド育成の後継者を確保する。 ・市民の郷土愛、一体感を醸成する。 ・商工業者を中心とした市民自らがシティブロモーションを行う。
事業概要	<p>【平成29年度】10月22日(日)の開催に向け準備を行ったが、台風の影響により安全面を考慮し中止となった。</p> <p>◎産業祭の開催(10月22日) ※しもつけ市市民芸術文化祭と同日開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商工業者の出展: 商工会員を中心に自社製品や取扱商品等のPR・展示・販売 ・各工業団地による出展: 各企業の製品・商品の展示・販売やパネル等による製造工程説明 ・食と農の情報発信: 市内で生産されるかんぴょうなどの特産品を陳列・販売 ・公共性のある団体による出展等: 観光協会や各種団体によるポスター等の展示 ・食品を中心とした下野ブランド認定品の販売 ・ステージにおいては市内幼稚園児による発表、小学生による太鼓の演奏(ステージ総合司会:地元出身の永井豊及びびしもサターンナリテイ) ・市関係課のブースによる施策のPRやパーソナルロボット「Pepper」を活用したプロモーション ・技能検定合格者表彰 <p>国家試験である技能検定(うち特級・1級・単一級)の合格者について、これまで単独で表彰式を行っていたが、能力向上の意識啓発促進と産業振興を踏まえ産業祭で実施する。</p> <p>☆イクボス市宣言に合わせ、男女共同参画及び子育て関連のブースを出展し、ワークライフバランスの視点を加味することとする。</p> <p>○誘客 チラシ20,000枚を各戸、公共施設、出展する事業所に配布するほか、ポスター50枚を市内公共機関、JR小金井駅、自治医大駅、石橋駅、自治医科大学附属病院院内掲示板に掲示予定。</p> <p>【平成30年度以降】 より産業振興に資するイベントとなるよう、後継者確保や市民の郷土愛の醸成につながるような取組を検討し、リニューアルしながら実施していく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】②東京圏からの新しいひとの流れをつくる</p> <p>【数値目標】転入者数:H26 2,319人→H31 2,550人【H28実績 2,276人】</p> <p>【KPI】</p> <p>企業交流会・講習会の開催回数:H26 年1回→H31 毎年開催【H28実績 年1回】</p> <p>事業所数:H26 113事業所→H31 120事業所【H28実績 107事業所】</p> <p>技能検定合格者表彰者数:H26 17人 →H31年 延125人【H28実績 延45人】</p> <p>地産地消応援認定数:H26 47事業所→H31 60事業所【H28実績 51事業所】</p> <p>下野ブランド認定件数:H26 24件→H31 40件【H28実績 32件】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	第5回下野市産業祭開催 ・商工業者、公共団体の出展 ・食と農の情報発信 ・下野ブランドPR	第6回下野市産業祭開催 ・商工業者、公共団体の出展 ・食と農の情報発信 ・下野ブランドPR 【台風の影響により中止】	第7回下野市産業祭開催 ・商工業者、公共団体の出展 ・食と農の情報発信 ・下野ブランドPR		第8回下野市産業祭開催 ・商工業者、公共団体の出展 ・食と農の情報発信 ・下野ブランドPR
事業費	2,875,612	2,558,780	3,001,000	8,435,392	3,001,000
市町支出金 (ソフト事業分)	2,575,475	2,458,772	3,000,000	8,034,247	3,000,000
うち県交付金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	300,137	100,008	1,000	401,145	1,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	商工観光課 商工業・労働グループ
担当者名	神戸 良和
電話	0285-32-8907
FAX	0285-32-8611
E-mail	syoukoukankou@city.shimotsuke.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	下野市
事業名	いしばし納涼踊り花火大会開催事業
事業主体の名称	いしばし納涼踊り花火大会実行委員会
代表者の名称	実行委員長 吉田 宗司
事業主体の所在	〒329-0511 下野市石橋790-17
事業主体の概要	<p>・団体の目的: 踊り花火を通じ地域住民の連帯感をはぐくみ、明るく住みよいまちづくりを図る。</p> <p>・設立年月日: 昭和48年</p> <p>・構成員等: 石橋商工会役員・理事、下野市、電気工事組合、建友会、音頭おはやし会、下野市立工場連絡協議会、石橋中学校PTA連絡会、自治会連絡協議会、警察、消防</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>下野市・石橋地区には、JR石橋駅を中心とした昔からの商店街や住宅地があるが、高齢化の進展とともに閉店する商店が増え、空き店舗の増加や用途変更による駐車場利用など、市街地の空洞化が進んでいる。</p> <p>その一方で、地域の祭りとして昭和48年から続く「いしばし納涼踊り花火大会」は、地域住民の交流を促進し、業種を超えた交流や情報交換の場として機能するほか、近年誕生した新興住宅地と従来の住宅地の新旧住民や世代を超えた人々の交流の場としても重要な役割を担うなど、空洞化が進む街においても、地域コミュニティを維持することに貢献してきた。また、平成18年の旧国分寺町、旧南河内町との合併後は、下野市を代表するお祭りの1つとして市内外より多くの人が訪れる行事となっている。</p> <p>しかし、お祭りの中心となって活動してきた商工業者も高齢化が進み、後継者不足により廃業となるなど、将来的な祭りの担い手の不足が懸念されている。地域住民の交流を促し、絆を深めてきた祭りの衰退は、地域の活力低下やさらなる若者の流出につながりかねない。いかかにして石橋地区への訪問者を増やし、地域の良さを将来的に住み続けたい街として実感してもらえかが課題となっている。</p>
事業目的	<p>・住民自らが地域を盛り立てていく。</p> <p>・子どもの郷土愛を醸成する。</p> <p>・地域の連帯感を育む。</p> <p>・下野市(石橋地区)を訪れるきっかけをつくり、地域の良さを知ってもらい将来的な移住・定住候補地として考えてもらう。</p>
事業概要	<p>【平成29年度】</p> <p>○盆踊り花火大会の開催(8月11日金曜日) ※お盆時期の開催により、帰省者のUターン促進</p> <p>・地元のおはやし団体による音頭はやし演奏(15名)</p> <p>・盆踊り・・・地域団体、スポーツ少年団、PTA、立地企業等がグループで盆踊りを披露し、審査・表彰した。(22団体、550名)</p> <p>・花火・・・1,000発・屋台・・・十数店舗。今年度は、地域の商店の出店を促進させ、地域の連帯感を一層高めた。</p> <p>○事前PR</p> <p>・新聞(下野・読売・毎日・朝日)折込、商工会員事業所・実行委員(市・PTA・自治会)の関連施設へのポスター掲示、ホームページやタウン情報誌(もんみや)への掲載のほか、SNS(青年部を中心としたツイッター)を開設し、広くPRを行った。</p> <p>☆お盆期間中の開催にすることで帰省者が参加しやすくし、祭り自体の賑わいだけでなく、Uターンの促進につながるようにした。</p> <p>【平成30年度以降】</p> <p>より郷土愛や連帯感を育むためのイベントとなるようリニューアルしながら実施する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標①②東京圏からの新しいひとの流れをつくる ④安心なくらしを守り幸せを実感できるまちをつくる</p> <p>【数値目標】</p> <p>幸せだと感じている市民の割合:H26 75%→H31 78%</p> <p>住みやすいと感じる市民の割合:H26 84%→H31 87%</p> <p>観光入込客数:H26 252万人→H31 277万人【H28実績 247万人】</p> <p>転入者数:H26 2,319人→H31 2,550人【H28年実績 2,276人】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	・盆踊り大会 ・花火大会	・盆踊り大会 ・花火大会	・盆踊り大会 ・花火大会		・盆踊り大会 ・花火大会
事業費	4,463,595	4,166,699	4,600,000	13,230,294	4,600,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,467,000	1,372,000	1,522,000	4,361,000	1,522,000
うち県交付金	733,500	686,000	761,000	2,180,500	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	2,996,595	2,794,699	3,078,000	8,869,294	3,078,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	商工観光課 商工業・労働グループ
担当者名	神戸 良和
電話	0285-32-8907
FAX	0285-32-8611
E-mail	syoukougankou@city.shimotsuke.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	下野市
事業名	石橋商工会賑わい祭開催事業
事業主体の名称	石橋商工会
代表者の名称	会長 吉田 宗司
事業主体の所在	〒329-0511 下野市石橋790-17
事業主体の概要	<p>・団体の目的: 地区内における商工業の総合的な改善発達を図り、あわせて社会一般の福祉の増進に資し、もって国民経済の健全な発展に寄与する。</p> <p>・設立年月日: 昭和35年9月16日</p> <p>・構成員等: 本商工会の地区内において、引き続き6月以上 営業所、事務所工場又は事業場を有する商工業者</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>石橋駅前商店街は、かつての宿場町で、馬市がおかれ、戦後も家畜市場やかんぴょう問屋のある賑やかな商店街であったが、高齢化やモータリゼーションに伴い、空き店舗の増加や用途変更による駐車場利用など、市街地の空洞化が進んでいる。また、昭和35年から、住民の交流の場や各店舗の商品PRの場として「賑わい祭り」が開催されてきたが、後継者不足などから出展者の減少傾向が続いていた。</p> <p>商店街の活性化に寄与してきた「賑わい祭り」の衰退は、商店街、さらには石橋地域の商工業の衰退につながりかねないと、平成27年には、商店街に代わり商工会が主体となって、商店街のみでなく広く石橋地域の商工業者に参加を呼びかけ、9月に賑わい祭り、10月に駅前の商店を中心とした軽トラ市を開催したところ、約2,000名の来場があるなど、それまでを上回る賑わいを見せた。</p> <p>しかし、出展者の減少という問題は解決していないことから、いかにしてこれらの問題を解消しつつ、商工会の後継者を確保して駅前商店街の賑わいを創出していくかが課題となっている。</p>
事業目的	<p>・駅前商店街の賑わいを取り戻す。</p> <p>・商工会の後継者を増やす。</p> <p>・消費者、生産者、販売者の交流を促す。</p> <p>・石橋駅前商店街を訪れ、地域の良さを知ってもらい、将来的に移住・定住、商工会メンバーになってもらう。</p>
事業概要	<p>【平成29年度】</p> <p>◎賑わい祭の開催(10月15日 日曜日) 於: 石町通り(市道2251号線)</p> <p>・軽トラ市・・・軽トラック等で農産物、加工品、商工業用品等の販売</p> <p>・市民グループ、幼稚園児、小学生によるステージ</p> <p>・ビンゴゲーム、アイス早食い競争、千本つり</p> <p>☆かつての中心商店街だった石町通りを歩行者天国にすることで、交通安全上の問題を解消した。</p> <p>☆賑わい祭と軽トラ市を発展的に合体することで誘客力を向上させるとともに、出展者間の交流を促進した。</p> <p>☆石町通り中心部にステージを設置し、メインとなるイベントを開催した。</p> <p>○誘客</p> <p>祭り出店者や商工会員店舗、下野・読売・毎日・朝日新聞への折込でチラシを配布するとともにホームページに掲載し広くPRを行った。</p> <p>【平成30年度以降】</p> <p>賑わいづくりによる地域の活性化や、後継者育成による商業振興に資するイベントになるようリニューアルしながら実施する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】①魅力的で安定した雇用を創出する ②東京圏からの新しいひとの流れをつくる</p> <p>【数値目標】</p> <p>観光入込客数: H26 252万人→H31 277万人【H28実績 247万人】</p> <p>【KPI】</p> <p>制度融資新規活用件数: H26 177件→H31 200件【H28実績 172件】</p> <p>駅前広場事業実施箇所数: H26 2箇所→H31 5箇所【H28実績 3箇所】</p> <p>空き店舗奨励金等活用件数: H26 2件→H31 延15件【H28実績 延9件】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	<p>・農産物、加工品、商工業用品の販売</p> <p>・ヒーローショーや市民グループによるパフォーマンス</p> <p>・ビンゴゲームやじゃんけん大会</p>	<p>・農産物、加工品、商工業用品の販売</p> <p>・市民グループ、幼稚園児、小学生によるステージ</p> <p>・ビンゴゲームやアイス早食い競争、千本つり</p>	<p>・農産物、加工品、商工業用品の販売</p> <p>・ヒーローショーや市民グループによるパフォーマンス</p> <p>・ビンゴゲームやじゃんけん大会</p>		<p>・農産物、加工品、商工業用品の販売</p> <p>・ヒーローショーや市民グループによるパフォーマンス</p> <p>・ビンゴゲームやじゃんけん大会</p>
事業費	1,537,069	1,500,898	1,288,000	4,325,967	1,288,000
市町支出金(ソフト事業分)	228,000	470,000	229,000	927,000	229,000
うち県交付金	114,000	235,000	114,500	463,500	
市町支出金(ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	1,309,069	1,030,898	1,059,000	3,398,967	1,059,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	商工観光課 商工業・労働グループ
担当者名	神戸 良和
電話	0285-32-8907
FAX	0285-32-8611
E-mail	syoukoukankou@city.shimotsuke.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	下野市
事業名	しもつけお笑いグランプリ開催事業
事業主体の名称	しもつけお笑いグランプリ実行委員会
代表者の名称	実行委員長 鶴見 健太郎
事業主体の所在	〒329-0511 下野市石橋790-17
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:石橋商工会青年部を中心とした若者たちによる地域の活性化や笑いによる幸福度アップを図る。 ・設立年月日:イブニングライズ実行委員会(平成元年設立)、しもつけお笑いグランプリ実行委員会に名称変更(平成26年度) ・構成員等:石橋商工会青年部員及び地域の有志
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>下野市・石橋地区には、JR石橋駅を中心とした昔からの商店街や住宅地があるが、高齢化の進展とともに閉店する商店が増え、空き店舗の増加や用途変更による駐車場利用など、市街地の空洞化が進んでいる。</p> <p>商工会等が中心となって様々な活性化の取組を行っているが、各取組は模索・実行段階にあり、まだ明確な成果が出ているわけではない。そこで、平成元年、数少ない商工会の後継者が集まり、若手のアイデアで活性化に貢献しようと、イブニングライズ実行委員会を設立し、コンサート中心のイベントを開催してきたが、近年では事業がマンネリ化し、来場者が減少してきたことに伴い事業規模も縮小していた。</p> <p>そのため、平成26年に、事業のあり方を見直し、地域の活性化には「笑い」が必要だと「お笑いグランプリ」を開催するとともに、近年下野市で力を入れている特産品を活かした「ご当地グルメ選手権」を開催したところ、久しぶりに来場者が増えた。</p> <p>しかし、まだ開催3年目ということで認知度は高くないこともあり、今後いかにして地域住民に愛される、市全体の資源にしていけるか、また、これをきっかけに人を呼び込み商工会の後継者を増やしていくかが課題となっている。</p>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・石橋地区の商工業を活性化させる。 ・商工会の後継者を増やす。 ・下野ブランドの魅力を市民自身が再確認し、誇れる街とする。 ・下野市を訪れるきっかけをつくり、地域の良さを知ってもらい将来的な移住・定住候補地として考えてもらう。
事業概要	<p>【平成29年度】</p> <p>○しもつけお笑いグランプリの開催(3月4日 日曜日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・25組のお笑い芸人によるグランプリ制バトル ・司会に下野市出身の芸人コンビ「シモツケ」、下野市をPRしている「しもサタ」を起用し、随所に「しもつけいじり」を交えながら、PRトークを行った。 ・栃木GBより2名の選手の参加をいただき、地域のプロ野球選手との交流を図り集客に努めた。 ○下野市産の農産物を使用した料理の販売・・・商工会員を中心にかんぴらなど、下野市産の農産物を使った料理を提供し、地元農産物や商店の商品のPRを行った。 ○事前PR 新聞折り込みを下野新聞だけでなく、ホームページ、ツイッターやフェイスブックなどのSNSを活用しPRを行った。 中が公にチラシを配布し、次代を担う子供たちの集客に努めた。 コントの様子を会場ホールの外に設置した大型モニターで放映することにより、会場に入れない方が見物できるだけでなく、飲食しながらコントを楽しめるよう工夫した。 <p>【平成30年度以降】</p> <p>将来的には出店料や入場料をとることで自主運営を検討していく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】②東京圏からの新しいひとの流れをつくる ④安心なくらしを守り幸せを実感できるまちをつくる</p> <p>【数値目標】</p> <p>転入者数:H26 2,319人→H31 2,550人【H28実績 2,276人】</p> <p>観光入込客数:H26 252万人→H31 277万人【H28実績 247万人】</p> <p>幸せだと感じている市民の割合:H26 75%→H31 78%</p> <p>【KPI】</p> <p>下野ブランド認定件数:H26 24件→H31 40件【H28実績 32件】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・お笑いグランプリ ・下野ブランドPR・販売 ・ご当地グルメ選手権 	<ul style="list-style-type: none"> ・お笑いグランプリ ・下野ブランドPR・販売 ・ご当地グルメ選手権 	<ul style="list-style-type: none"> ・お笑いグランプリ ・下野ブランドPR・販売 ・ご当地グルメ選手権 		
事業費	543,614	600,168	840,000	1,983,782	840,000
市町支出金 (ソフト事業分)	181,000	200,000	200,000	581,000	200,000
うち県交付金	90,500	100,000	100,000	290,500	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	362,614	400,168	640,000	1,402,782	640,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	商工観光課 商工業・労働グループ
担当者名	神戸 良和
電話	0285-32-8907
FAX	0285-32-8611
E-mail	syoukougankou@city.shimotsuke.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	下野市
事業名	下野市商工会青年部夏まつり開催事業
事業主体の名称	下野市商工会青年部
代表者の名称	部長 岡本 晃
事業主体の所在	〒329-0412 下野市柴897-10
事業主体の概要	<p>・団体の目的:商工業の後継者たるべき青年の経営者としての資質を向上させ、商工業の総合的な改善発達を図り、あわせて社会一般の福祉の増進に資する</p> <p>・設立年月日:平成24年4月(南河内商工会、国分寺商工会の合併により設立)</p> <p>・構成員等:本商工会の会員たる商工業者(法人にあってはその役員)又はその親族であり、かつ、その会員の営む事業に従事する者であつて、年齢満45歳以下の者</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>下野市は平成18年に旧石橋町、旧南河内町、旧国分寺町が合併してできたが、商工会としては、平成24年に南河内町商工会と国分寺商工会が合併して下野市商工会となった。その際、旧各商工会の青年部(地域の商工業のこれからの担う若者たちの組織)同士、交流と一体感を深めた方がよいと、様々な取組をしてきたが、さらに各旧町の住民との交流も図るため、平成24年から下野市商工会青年部夏まつりを開催してきたところ、少しずつ交流が深まってきた。</p> <p>しかし、商工会青年部の人数は多くなく、今後さらに人口減少が進むと商工会青年部(商工会の後継者)の存続も危ぶまれる。そのため、いかにして商工会青年部と住民の交流を図りつつ、商工会の後継者を確保していくかが課題となっている。</p>
事業目的	<p>・地域に根ざした商工業を育成する。</p> <p>・住みたい地区として、移住定住候補地になる。</p> <p>・子どもの郷土愛を醸成し、将来的なUターン、定住意識を育てる。</p>
事業概要	<p>【平成29年度】</p> <p>○夏まつりの開催(8月20日 日曜日) ※夏休み時期の開催により、帰省者のUターン促進や子供の参加を促した。 小学生以下の子どもを対象にした参加体験型の催しを実施し、親子で気軽に参加できるイベントとした。</p> <p>・ゲーム(射的、型抜き、スマートボール、ラッキーボール、チョコQ)</p> <p>・イベント(抽選会、大道芸、鮎のつかみ取り)</p> <p>・模擬店(かき氷、焼きそば、ジュース、フランクフルト、グリムロック)</p> <p>・親子木工教室</p> <p>○事前PR</p> <p>・チラシ4,000枚を市内小学校、幼稚園、保育園に配布するほか、HPやSNS、市広報を活用し、広く情報発信した。 ★石橋商工会青年部も出展協力することで、市全体の活性化や商工会後継者の交流を図った。</p> <p>【平成30年度以降】</p> <p>売上げを伸ばし自立性を高めていく。 住みたい・住み続けたいと感じていただけるような創意工夫を図る。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】②東京圏からの新しいひとの流れをつくる ④安心な暮らしを守り幸せを実感できるまちをつくる</p> <p>【数値目標】</p> <p>観光入込客数:H26 252万人→H31 277万人【H28実績 247万人】</p> <p>転入者数:H26 2,319人→H31 2,550人【H28実績 2,276人】</p> <p>幸せだと感じている市民の割合:H26 75%→H31 78% 住みやすいと感じる市民の割合:H26 84%→H31 87%</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 周知広報活動 出展者募集 夏まつり開催 	<ul style="list-style-type: none"> 周知広報活動 出展者募集 夏まつり開催 	<ul style="list-style-type: none"> 周知広報活動 出展者募集 夏まつり開催 		<ul style="list-style-type: none"> 周知広報活動 出展者募集 夏まつり開催
事業費	641,576	414,469	900,000	1,956,045	900,000
市町支出金 (ソフト事業分)	213,000	138,000	250,000	601,000	250,000
うち県交付金	106,500	69,000	125,000	300,500	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	428,576	276,469	650,000	1,355,045	650,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	商工観光課 商工業・労働グループ
担当者名	神戸 良和
電話	0285-32-8907
FAX	0285-32-8611
E-mail	syoukoukankou@city.shimotsuke.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	下野市
事業名	下野市天平マラソン大会
事業主体の名称	下野市体育協会
代表者の名称	下野市体育協会 会長 秋山幸男
事業主体の所在	〒329-0492 栃木県下野市笹原26 下野市教育委員会事務局スポーツ振興課内
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:生涯スポーツの普及と振興を図り、市民の体力向上とスポーツマンシップを涵養することに努めるとともに、明るく豊かで潤いに満ちた市民生活と文化の形成に寄与する。 ・設立年月日:平成18年3月26日設立 ・構成員等:21種目別競技団体加盟
当該事業に係る地域の現状と課題	文化・歴史の薫る天平の丘公園周辺をコースとした天平マラソン大会は、年々参加者が増加し市内外から2,000名を超える参加者数となり、生涯スポーツの推進、選手間の交流及び本市のイメージアップ、PRの場として開催している。しかし、豊富な歴史的資源等があるにも関わらず、単に大会への参加にとどまり滞在時間、再来訪者も少ない。本大会は、下野市の魅力を発信する貴重な機会のひとつであるが、現状ではまだまだ情報発信が十分でないことが課題となっている。
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・明るく健康で潤いに満ちた生活を営むための要素としての生涯スポーツの振興を図る。 ・大会を通し、役員や参加者間の交流が生まれ地域を超えた親睦の輪を広げる機会を提供する。 ・多くの人々が集うことで地域を活性化し、地域の一体感や郷土愛の醸成を図る。 ・本市の歴史、文化、特産品、自然などの資源、魅力の発信の場とし、本市への来訪者の増加を図る。
事業概要	<p>【平成29年度】 開催時期:平成30年1月9日(成人の日) 開催場所:天平の丘公園発着</p> <p>①大会の開催準備 <ul style="list-style-type: none"> ・運営会議等の開催…打ち合わせにより体協陸上部と今年度大会内容の確認を行い、役員の分配を決定する調整会議、担当役員の役割を説明する役員説明会等を実施した。 ・参加申込書、プログラム等を作成した。 ・大会のPR…ネットエントリーサービス(ランネット)を利用した大会紹介ページを作成・広告した。 ・市内立地企業への協賛依頼と合わせて参加者募集を告知した。 </p> <p>②大会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・競技種目は6コース(ハーフ・10km・5km・3km・2km・1km)による20クラス ・表彰は、各クラス1位～3位までメダル・賞状・副賞、4位～6位まで賞状・副賞を授与し完走者には記録証を交付した。 ・参加者には、記念品を配布した。 ・今年度から新たに、各種目に飛び賞を配布 ⇒ 地元菓子メーカー提供の記念品を贈呈した。 ・今年度から新たに、市少年スポーツ指導員へ大会運営役員委嘱し官民協働事業化を図った。 ・問題のあるコースを見直し、ランナーのニーズに沿った走りやすい設計にすることで参加者の満足度向上を図った。 </p> <p>③市PRの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・特産品であるかんびょうを使ったかんびょう汁を無料配布した。 ・プログラム、特設ブースを利用し下野市をPRした。 </p> <p>【平成30年度】 より広く大会を周知できる情報発信に努め、また各種イベントの共同開催により新しい客層からの参加者需要の開拓を図っていく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】②東京圏からの新しいひとの流れをつくる ④安心なくらしを守り幸せを実感できるまちをつくる</p> <p>【数値目標】 スポーツ活動の実施率:H26 51.7% ⇒ H31 53.0% 観光入込客数:H26年 252万人 ⇒ H31年 277万人 【H27実績 256万人】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	30年度	31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	第12回下野市天平マラソン大会の開催 ①大会の開催準備 ②大会の開催 ③下野市のPRの実施	第13回下野市天平マラソン大会の開催 ①大会の開催準備 ②大会の開催 ③下野市のPRの実施	第14回下野市天平マラソン大会の開催 ①大会の開催準備 ②大会の開催 ③下野市のPRの実施		下野市天平マラソン大会の開催 ①大会の開催準備 ②大会の開催 ③下野市のPRの実施
事業費	4,761,983	4,780,000	4,780,000	14,321,983	4,780,000
市町支出金 (ソフト事業分)	813,483	880,000	880,000	2,573,483	880,000
うち県交付金	406,741	440,000	440,000	1,286,741	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	3,948,500	3,900,000	3,900,000	11,748,500	3,900,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	スポーツ振興課(スポーツ振興グループ)
担当者名	佐藤養祐
電話	0285-32-8920
連絡先 FAX	0285-32-8611
E-mail	sports@city.shimotsuke.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	下野市
事業名	第7回 しもつけかんびょうまつり
事業主体の名称	しもつけかんびょうまつり実行委員会
代表者の名称	しもつけかんびょうまつり実行委員会 会長 池田 榮
事業主体の所在	〒329-0492 下野市笹原26番地
事業主体の概要	<p>■団体の目的 下野市の特産品(ブランド)である「かんびょう」をPRするとともに、かんびょうに関する様々なイベントを開催し生産者と消費者の交流を通してかんびょうの生産振興と消費拡大を図ることを目的とする。</p> <p>■設立年月日 平成23年6月27日設立</p> <p>■構成員等 かんびょう生産者・認定農業者連絡協議会・農業者会・農業委員会・農村生活研究グループ・農産物加工組合・JAおやま・JAうつのみや・栃木県干瓢商業協同組合・商工会・しもつけ地域活性化委員会・観光協会</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	下野市は、かんびょう生産量日本一を誇る生産地であるが、生産農家の高齢化や後継者不足等により生産量が減少している状況にあることから、当該事業を通じ市の特産品である「かんびょう」の魅力を多くの消費者の方々に発信し、かんびょうの生産振興及び消費拡大を図るとともに、生産後継者の掘り起こしを行い生産量の維持・増をしていく必要がある。
事業目的	下野市の特産品(ブランド)である「かんびょう」をPRするとともに、かんびょうに関する様々なイベントを開催し生産者と消費者の交流を通してかんびょうの生産振興と消費拡大を図ることを目的とする。本イベントを通じブランド食材であるかんびょうを消費者に身近に感じてもらうとともに、食物繊維やミネラルを多く含む健康食材であることを幅広くアピールし、消費拡大につなげていく。
事業概要	<p>【平成29年度】</p> <p>■実行委員会の開催・・・事業内容・予算の検討、事業詳細確認・役割分担、事業報告・決算 計2回開催(①6月22日、②8月24日)</p> <p>■しもつけかんびょうまつりの開催 かんびょうの生産振興と消費拡大を図るため、下記の取組を行った。</p> <p>・開催日時:7月22日 ・開催場所:道の駅しもつけ</p> <p>・開催のPR・・・市広報紙・ポスター・チラシ配付</p> <p>・かんびょうむき・干し体験</p> <p>・ふくべ重さ当て・ふくべ絵付け体験・ジャンボふくべコンテスト</p> <p>・かんびょう料理教室・かんびょう汁のサービス・かんびょう料理レシピの配布</p> <p>・かんびょうを身近に感じていただき普及促進を図るため、かんびょう料理新メニューコンテストを実施した。(大人の部・子供の部・ヘルシー部門)</p> <p>【平成30年度】</p> <p>かんびょうを知らない都市部の消費者にとって、かんびょうむきなどの生産体験や大きなふくべからかんびょうができていくことなどを知るのには、たいへん興味深い経験になると考えられるため、今年度の事業内容に加え、東京圏等の都市消費者との交流事業に取り組んでいく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】魅力的で安定した雇用を創出する</p> <p>【数値目標】</p> <p>新メニューの提供数:H26年- ⇒ H31年延10件【H28実績 延12件】</p> <p>市地産地消応援認定数:H26年47事業所 ⇒ H31年60事業所【H28実績 51事業所】</p> <p>新規就農者数:H26年8人 ⇒ H31年10人【H28実績 7人】</p> <p>【基本目標】東京圏からの新しいひとの流れをつくる</p> <p>【数値目標】</p> <p>地産地消イベント開催数:H26年4回 ⇒ H31年6回【H28実績 5回】</p> <p>下野ブランド認定件数:H26年24件 ⇒ H31年40件【H28実績 32件】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	30年度	31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 実行委員会の開催 かんびょうむき、干し体験 ふくべ重さ当て ふくべ絵付け体験 ジャンボふくべコンテスト かんびょう料理教室 かんびょう汁のサービス かんびょう料理レシピの配布 	<ul style="list-style-type: none"> 実行委員会の開催 かんびょうむき、干し体験 ふくべ重さ当て ふくべ絵付け体験 ジャンボふくべコンテスト かんびょう料理教室 かんびょう汁のサービス かんびょう料理レシピの配布 都市消費者との交流 	<ul style="list-style-type: none"> 実行委員会の開催 かんびょうむき、干し体験 ふくべ重さ当て ふくべ絵付け体験 ジャンボふくべコンテスト かんびょう料理教室 かんびょう汁のサービス かんびょう料理レシピの配布 都市消費者との交流 		
事業費	437,927	418,000	418,000	1,273,927	418,000
市町支出金 (ソフト事業分)	418,300	418,000	418,000	1,254,300	418,000
うち県交付金	172,000	174,000	174,000	520,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	19,627	0	0	19,627	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	農政課農業振興グループ
担当者名	米井 正和
電話	0285-32-8906
連絡先 FAX	0285-32-8611
E-mail	nousei@city.shimotsuke.ig.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	下野市
事業名	絶滅危惧種トウサワトラノオ保護事業 ～保護から生まれる地域未来創造～
事業主体の名称	下野市トウサワトラノオ保存会
代表者の名称	会長 黒川 英代
事業主体の所在	下野市東根 地内
事業主体の概要	<p>・団体の目的：絶滅危惧種トウサワトラノオの保護及びPR活動を行う。</p> <p>・設立年月日：平成24年5月24日</p> <p>・構成員等：南河内土地改良区(江川・五石地区整備委員会)、東根自治会、県立小山北桜高等学校、下野市自然に親しむ会、下都賀農業振興事務所(整備部整備課)、下野市(農政課)</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>下野市には、絶滅危惧種「トウサワトラノオ」の群生地がある(※)。平成18年に50年ぶりに確認され、県が保全地を造成し管理を行っていたが、平成24年に管理が下野市に移ったことをきっかけに、下野市トウサワトラノオ保存会を設立し、以降、トウサワトラノオ保護のため、生育状況の調査や保全地の草刈り等の保護活動を行ってきた。また、これまで下野市は“通り道”であることが多く、なかなか“目的地”とは認識されることがなかったが、トウサワトラノオの群生地の発見により観光客の増加が期待され、NHK等のマスコミを通してトウサワトラノオのPR活動を行ってきた。今年度はNHK放映の翌日には100人程度の来客があり、以降千葉県や遠くは四国から保全地を訪れる姿も見られた。</p> <p>しかし、群生地の規模が大きいため、その維持管理には手間がかかる上、国内でも2ヶ所で見られない絶滅危惧種であるにも関わらず、トウサワトラノオの知名度は県内でも低く、観光に訪れる人は市民の一部もしくはマスコミ等で存在を知り得た県内外の視聴者のみである。そのため、今後いかんしてトウサワトラノオを保護しながら、トウサワトラノオを活用して地域に人を呼び込むかが課題となっている。</p> <p>※ 国内で自生しているのは栃木県と愛知県のみと言われる花で本県では絶滅したとされていた。良好な圃場を維持してきた地元の方々の努力の結果であり、発見後は保全地を造成し人為的な保護活動を行い、現在これほどの大群落を保っているのは下野市のみ。</p>
事業目的	<p>トウサワトラノオの生育環境を守る。</p> <p>トウサワトラノオを活用して下野市に人を呼び込む。</p> <p>・近隣に位置する「道の駅しもつけ」への誘客を促し、物産品や土産物の購入を通して下野市の魅力を知ってもらう。</p>
事業概要	<p>【平成29年度】</p> <p>《トウサワトラノオの生育環境を守る》</p> <p>○東根自治会・トウサワトラノオ保存会・下都賀農業振興事務所・小山北桜高校・下野市自然に親しむ会参加のもと、保全地の一斉草刈り作業(開花後、秋の雑草繁茂後)実施した。その他、草刈り時に発生した枯草の処分(業者委託)、雑草対策(灌漑期の5～8月・除草剤散布)、湛水管理(灌漑期の5～8月)を行い、生育環境維持のための活動を行った。</p> <p>《トウサワトラノオを活用して人を呼び込む》</p> <p>○「花を見る会」の開催(開花後の保全会総会時、昼食と合わせて開催)。</p> <p>○トウサワトラノオにちなんだ商品開発及び保全地案内板の設置・・・昨年度市内企業と連携し開発した商品(下野市ブランド菓子)において、工場にてお菓子を製作する工程で一部不具合が生じたが、工場にて開発・調整を行った結果、年内にお菓子が完成し、各関係機関の総会や学校の卒業式等の贈答品として配布、トウサワトラノオをPRすることができた。(お菓子の名称「絶滅危惧種「東根の華」トウサワトラノオ」)</p> <p>今後、平成30年度しもつけ道の駅での販売に向けて、デザイン等を決定する。</p> <p>また、保全地に目印がないため、開花時に訪れる人が道に迷ってしまったり、電話の問合せにて保全地を案内する上でとても苦慮しているため、保全地に接続する幹線道路に看板を設置した。</p> <p>《将来にわたり保護する体制をつくる》</p> <p>○トウサワトラノオ保存会総会にて、調査結果発表(吉田西小学校)を行った。</p> <p>○吉田西小学校校庭内のピオトープ(小規模な生息空間)にトウサワトラノオの生息拡大を図り、満開の状態となった。</p> <p>【平成30年度以降】</p> <p>保存会と協力しながら、保護活動と観光資源化のバランスに配慮し、地域資源としての活用を検討する。</p> <p>小山北桜高等学校と吉田西小学校との交流事業の中で、絶滅危惧種ゆるキャラを企画・製作する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標②東京圏からの新しいひとの流れをつくる</p> <p>【数値目標】観光入込客数:H26 252万人→H31 277万人【H28実績 247万人】</p> <p>【KPI】道の駅しもつけ利用者数:H26 260万人→H31 280万人【H28実績 237万人】</p> <p>下野ブランド認定件数:H26 24件→H31 40件【H28実績 32件】</p> <p>市ホームページアクセス数:H26 110万件→H31 120万件【H28実績 129万件】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

事業内容	28年度			29年度			30年度			支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
	①保全地周辺の環境整備	②開花後の案内、見守り活動	③観察会「花を見る会」の開催、研究発表	④保全地の除草作業	⑤保全活動のPR事業	①保全地周辺の環境整備	②開花後の案内、見守り活動	③観察会「花を見る会」の開催、研究発表	④保全地の除草作業		
事業費	300,000	600,000	390,000	1,290,000	200,000						
市町支出金(ソフト事業分)	300,000	600,000	390,000	1,290,000	200,000						
うち県交付金	105,000	256,000	150,000	511,000							
市町支出金(ハード事業分)				0							
うち県交付金				0							
その他自主財源等	0	0	0	0	0						

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	農政課 農村整備グループ
担当者名	飯野 博之
電話	0285-32-8906
FAX	0285-32-8611
E-mail	nousei@city.shimotsuke.lg.jp